

令和2年6月

袋井市議会定例会

一般質問通告内容

※ 傍聴のお知らせ ※

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、極力傍聴を控えていただき、インターネット中継をご覧ください。

インターネットで本会議の中継（録画）放送を行っています。
Yahoo! や Google などの検索画面から
[袋井市議会](#)を検索して、御覧ください。

傍聴者の皆様へ
携帯電話はマナーモードへの切り替えをお願いいたします。

袋井市議会

一般質問通告議員

実施日	質問順	議員名	質問形式	ページ
6/9(火)午前	1	浅田 二郎	一問一答	3
	2	高橋 美博	一括	4
	3	戸塚 哲夫	一括	6
6/9(火)午後	4	近藤 正美	一括	8
	5	竹野 昇	一問一答	10
	6	鈴木 弘睦	一括	11

調整の結果、答弁者（市長、教育長）が変更される場合がありますので御了承ください。

質問順序	1	議席番号	14	質問者	浅田 二郎
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	合併後の財政状況について 国は、「アメ」と「ムチ」の財政政策で「自治体リストラ」を進め、自治体は、「合併は避けて通れない」「時代の流れ」「将来やっていけない」などと合併へ走った。合併して15年、財政状況はどのようになったか検証する。 (1) 合併前、地方交付税が大幅に減額されてきたが、その後はどうなったか。普通交付税（基準財政需要額と基準財政収入額との差額）の状況は。また、合併せず「やっていけなくなった」自治体はあるのか。 (2) 合併算定替による収入増はどの程度であり、どんな活用ができたのか。 (3) 合併特例債の起債状況と地方債残高は。合併特例債の活用について当初の計画との相違及び評価は。 (4) 地域振興基金の活用状況は。 (5) 行政効率化は合併によりよくなったのか。主な効果とされていた人件費はどうなった。 (6) 厳しさを増した今後の財政運営は。				市長
2	賑わいある浅羽地域づくりについて 対等合併でも、実質的に吸収される地域の「寂れる（さびれる）のでは」という不安は大きく、その解消は重要な課題であった。 (1) 「行政の核」としての浅羽支所の支所機能の充実は、賑わいの基本ではないか。 (2) 教育委員会と水道部が分庁として浅羽支所に設置されたが、その理由は何か。教育委員会が移転し、水道課・下水道課の移転が計画されているが、それはなぜか。 (3) 旧浅羽町地域での合併特例債活用候補となっていたのが、地域交流プラザ（40億円）、海浜公園（30億円）の整備であったが、どのようになったか。また、今後の方針は。				市長

質問順序	2	議席番号	15	質問者	高橋 美博
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	<p>新型コロナウイルス感染症に関する問題について</p> <p>（1） コロナウイルス感染拡大要因に対する認識と感染が終息した後の社会の在り方、経済の在り方について市長の考えを伺う。</p> <p>ア コロナ後の社会は、新自由主義的政策を改め、国民本位の経済政策への転換が求められると考えるがどうか。</p> <p>イ コロナウイルス感染拡大の要因は、経済のグローバル化・新自由主義に基づく経済運営にあり、日本の医療体制が後退してきたことにあると考えるがどうか。</p> <p>ウ 感染拡大の危機に際し、日本は国による強制ではなく、国民の自覚的協力で結果を出してきたことを評価すべきと考えるがどうか。</p> <p>（2） 避難所におけるコロナウイルス感染症への対応として、どのような項目を見直し、改定時期はいつか。</p> <p>（3） コロナウイルスの感染拡大で休校や外出自粛が長引く中で、虐待やDVが増えていると聞くが、本市の状況とその対応はどうか。</p> <p>（4） 最前線で頑張っている中東遠総合医療センターの経営を、市として支援できることはないか。</p>				市長
2	<p>小中学校の長期臨時休業による問題について</p> <p>（1） 授業時数確保に向けた今後の学校運営計画の変更について伺う。</p> <p>ア 夏季休業・冬季休業短縮の検討経緯とその根拠はどうか。</p> <p>イ 学校行事の実施・変更・中止についての考え方はどうか。</p> <p>（2） 「9月入学制」について教育長の考えはどうか。</p>				教育長

質問順序	2	議席番号	15	質問者	高橋 美博
質問事項・要旨（具体的な質問事項） 《一括》					答弁者
2	<p>(3) 臨時休業中に実施したオンライン教育の内容とその成果について伺う。</p> <p>ア 周南中学校が先進的に実施したとのことだが、その実績と成果はどうか。</p> <p>イ オンライン教育実施に向けた課題をどう捉えているか。</p> <p>(4) 臨時休業による子どもたちへの影響と心のケアについて伺う。</p> <p>ア 長期の臨時休業により生活のリズムをこわしている子ども、こころに変調を来たした子どもはいなかったのか。また、その対応はどうか。</p> <p>イ 学校再開後、子どもたちは順調に学校生活へ順応しているか。</p>				教育長

質問順序	3	議席番号	7	質問者	戸塚 哲夫
質問事項・要旨（具体的な質問事項） 《一括》					答弁者
1	避難所における新型コロナウイルス感染症への対応について 避難行動を伴う災害が発生し、避難所を開設する場合、新型コロナウイルス感染症対策に万全を期することが重要である。 (1) 避難所については、国際赤十字により避難所の環境について多くの基準が示されているが、新型コロナウイルス感染症対策を考慮すると、今後避難所の設置に関し、早急な検討が必要となるのでは。 (2) 現行の避難所では、1人当たりの居住空間を拡張した場合、指定避難所を増やさなければ感染症対策の対応が取れないと思うが。 (3) 災害発生に備え、指定避難所以外の施設やホテル・旅館などを避難所として活用する考えは。 (4) 自主防災隊の方々に、避難所での感染を防ぐ取り組みについての研修が必要では。 (5) 現行の避難所運営マニュアルを新型コロナウイルス感染症対策にも対応できるように改定していく考えは。				市長
2	コロナ禍の市内在住外国人への支援について 今回のコロナ禍で多くの市内在住の外国人が影響を受けている。渡航制限されているケースもあり、長期間の支援が必要になる。 (1) 市に相談や救済を求めてきた場合、言語の問題が課題となるが、窓口は対応可能となっているか。 (2) 注意喚起や救済措置の説明など外国人への分かりやすい説明が求められる。どのように対応されているのか。				市長
3	新型コロナ専門家会議提言の新しい生活様式の対応について 感染がいったん落ち着いても、再び流行する恐れがあり、長丁場の対応が求められていることから「新しい生活様式」の実践例が公表された。 (1) 専門家会議は、業種ごとのガイドラインの作成を要請し、また、袋井市感染症対策本部からも企業・事業所へ呼びかけているが、どのように周知しているか。				市長

質問順序	3	議席番号	7	質問者	戸塚 哲夫
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
3	<p>(2) 熱中症対策としてエアコンの使用が増加するが、密閉を防ぐことも必要である。必要な換気方法について、どのように周知していくか。</p> <p>(3) 感染防止対策としてマスクを着用することで、熱中症の懸念が強まっているが、その対応は。</p> <p>(4) 密集防止のため、公共施設によっては、入場制限なども必要になると思うが、市の取り組みについて伺う。</p>				市長
4	<p>新型コロナウイルスの感染予防におけるテレワークの活用について</p> <p>働き方改革の一環として、本年度からテレワークによる在宅勤務を本格導入したが、新型コロナウイルスの感染予防対策としても関心が高まっている。</p> <p>(1) テレワークの利点をどのように発信していくのか。また、より使いやすい仕組みにしていくことが重要と考えるがいかがか。</p> <p>(2) テレワークを定着させるには、職員の理解が欠かせない。どのように周知していくのか。</p>				市長

質問順序	4	議席番号	11	質問者	近藤 正美	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					《一括》	答弁者
3	(3) 文部科学省が本年5月11日に配信した、学校の情報環境整備に関する説明会の動画を受け、本市の取り組むべきことと課題は何か。				教育長	

質問順序	5	議席番号	5	質問者	竹野 昇
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	水道料金値上げ問題 県企業局遠州水道と契約した水量と実際に使用している水量との差が大きいにも関わらず、県企業局が契約水量の見直しに応じていないため、使っていない水代を今も払い続けているのは市民感情と袋井市の余分な支出を抑える観点から、早急に解決すべき問題である。この解決なしに、水道料金値上げはあり得ない。 (1) 当局のこれまでの見直しに関わる努力について説明を伺いたい。 (2) 市長の見直しに向けての決意を明らかにしてほしい。 (3) コロナの影響で打撃を受けている事業所・食堂・家庭が多く、また契約水量の見直し問題もあり、来年の値上げ実施のため今年度議会に水道料金改定の条例議案を出せる状況にないと思うが、当局の見解を伺う。 (4) 県企業局との話し合いが長引くことも予想される。契約水量見直しが解決するまで水道料金値上げは先延ばしたほうがよいと思うが、当局の見解を伺う。				市長
2	治水対策室の位置づけについて 水害対策を本格的に担うため、建設課に治水対策室が今年度設置された。水害は小手先の対処では根本的な解決が図れない。総合的な広い視野から、施策を立てる必要がある。農地の埋め立てや開発計画・土地利用に絡む問題も関係してくる。そこで、その機能・役割・権限について質問する。 (1) 農地や空き地を埋め立てる、山を削り開発する、水田地帯を開発して工場や住宅を建てるのが、水害を招く・床下床上浸水の恐れが生じることもあり得る。農地転用して開発するには農政課が、住宅建設には都市計画課が、工場誘致のための開発計画には産業政策課が関与するが、水害の心配がある計画には治水対策室に相談しその見解を聞いてから、最終決定したほうが将来的にいい判断・決定になると考えるが、当局はどう考えるか。 (2) 高南地区秋田川流域の治水対策を考えると、新幹線南側の水田は埋め立て開発計画を認めるべきでないと考える。農政課が農地転用許可権限を持っているが、治水対策室は地権者から埋め立て開発計画要望が出てきた場合、どう関与するか。				市長

質問順序	6	議席番号	6	質問者	鈴木 弘睦
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	喫煙について (1) (仮称)袋井市たばこによる健康被害から市民を守る条例の制定を含む取り組みが示された後、各関係団体等から多数の意見が寄せられたと聞いている。これまでの状況と意見内容を伺う。 (2) 喫煙場所の設置については民間と連携した取り組みが今までなされてきたが、市としての今後の方針を伺う。				市長
2	袋井市の教育について (1) 未来を担う子どもたちへ学校教育の充実と、地域や家庭での子育てを支援推進する中での課題と施策の方針について伺う。 ア 現状をどのように捉えているか伺う。 イ 袋井市の教育行政や未来を担う子どもたちに対するビジョンを伺う。 (2) 新型コロナウイルス感染症等によって子どもたちの生活環境に大きな変化と与えた。今回の方針を振り返り、今後の対策について伺う。 ア 家族が感染した場合の子どもたちへの教育及び養育の考え方について伺う。 イ 中学校における定期試験の実施と内申評価についての方針を伺う。 ウ 教科書等の教材を第三者がインターネットで使用するることについて、出版元から著作権侵害にあたり使用を止められる事案が生じているが、袋井市の対策を伺う。 エ 家庭での読書機会の増加により、児童書等の売り上げが好調だった。優良な図書を気軽に提供するために、電子図書館による図書の貸し出しについての考えを伺う。 オ 今回の対応を検証する中で、今後の対策と方針を伺う。				教育長